

一定の投資性金融商品の販売・販売仲介に係る 重要情報シート(個別商品編)

1 商品等の内容 (当社は、組成会社であるとともにお客さまに商品の販売を行っています)

金融商品の名称	アクティブ元年・日本株ファンド
組成会社(運用会社)	三井住友DSアセットマネジメント株式会社
販売会社	三井住友DSアセットマネジメント株式会社
金融商品の目的・機能	この商品は、日本の株式に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指します。
商品組成に携わる事業者が想定する購入層	この商品は、主要投資対象や運用内容について十分な知識や投資経験を有する、あるいは説明を受け商品内容を理解していただける、中長期での資産形成を目的とする投資家のご投資を想定しております。この商品は、元本割れリスクを許容する投資家向けです。
パッケージ化の有無	パッケージ化商品ではありません。
クーリング・オフの有無	クーリング・オフ(契約日から一定期間、解除できる仕組み)の適用はありません。

- よくあるご質問例**
- ・あなたの会社が提供する商品のうち、この商品が、私の知識、経験、財産状況、ライフプラン、投資目的に照らして、ふさわしいという根拠はなにか。
 - ・この商品を購入した場合、どのようなフォローアップを受けることができるのか。
 - ・この商品が複数の商品を組み合わせたものである場合、個々の商品購入と比べて、どのようなメリット・デメリットがあるのか。

2 リスクと運用実績 (本商品は、元本が保証されず、損失が生じるリスクがあります)

損失が生じるリスクの内容	運用資産の市場価格の変動による影響を受けます。投資先などの破綻や債務不履行の発生による影響を受けます。
【参考】過去1年間の収益率	6.7%(2022年1月末現在)
【参考】過去5年間の収益率	平均 27.0% 最低 -6.5%(2020年3月) 最高 68.6%(2021年3月) (2020年2月～2022年1月の各月末における直近1年間の数字) (2019年2月5日設定)

※損失リスクの内容の詳細は、契約締結前交付書面【交付目論見書】の「投資リスク」、運用実績の詳細は【交付目論見書】の「運用実績」の各ページに記載しています。

- よくあるご質問例**
- ・上記のリスクについて、私が理解できるように説明してほしい。
 - ・相対的にリスクが低い類似商品はあるのか。あればその商品について説明してほしい。

3 費用 (本商品の購入または保有には、費用が発生します)

購入時に支払う費用(販売手数料など)	ありません。
継続的に支払う費用(信託報酬など)	純資産総額に対し年率1.078%(税抜き0.98%)。また、その他の費用・手数料がかかります。
運用成果に応じた費用(成功報酬など)	ありません。
売却(解約)時に支払う費用(信託財産留保額など)	換金申込受付日の基準価額に0.15%を乗じた額が信託財産留保額として差し引かれます。

※上記以外に生じる費用を含めて、詳細は契約締結前交付書面【交付目論見書】の「手続・手数料等」に記載しています。

- よくあるご質問例**
- ・私がこの商品に〇〇万円投資したら、それぞれのコストが実際にいくらかかるのか説明してほしい。
 - ・費用がより安い類似商品はあるか。あればその商品について説明してほしい。



4 換金・解約の条件 (本商品を換金・解約する場合、一定の不利益を被ることがあります)

この商品の償還期限は無期限です。但し、繰上償還が行われる場合があります。

この商品をお客さまが換金しようとする場合には、信託財産留保額として、換金申込受付日の基準価額に0.15%を乗じた額が差し引かれます。

信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口の換金申込みに制限を設ける場合があります。また、取引所等における取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金申込みの受付中止や既に受け付けた購入・換金申込みが取消しされる場合があります。

※詳細は契約締結前交付書面【交付目論見書】の「手続・手数料等」に記載しています。

よくある
ご質問例

・私がこの商品を換金・解約するとき、具体的にどのような制限や不利益があるのかについて説明してほしい。

5 当社の利益とお客さまの利益が反する可能性

当社は販売会社であるとともに、この商品の組成会社でもあります。

当社はお客さまが支払う信託報酬年率1.078% (税抜き0.98%) の内、運用等に関わる費用 (ファンドの運用及び法定書面等の作成等の対価) として年率0.88% (税抜き0.80%)、販売等に関わる費用 (口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価) として年率0.165% (税抜き0.15%) の費用をいただきます。

当社の営業職員に対する業績評価上、この商品の販売が他の商品の販売より高く評価されるような場合はありません。

※利益相反の内容とその対処方針については、「利益相反管理方針」をご参照ください。(https://www.smd-am.co.jp/corporate/policy/conflict/)

よくある
ご質問例

・あなたの会社が得る手数料が高い商品など、私の利益よりあなたの会社やあなたの利益を優先した商品を私に薦めていないか。私の利益よりあなたの会社やあなたの利益を優先する可能性がある場合、あなたの会社では、どのような対策をとっているのか。

6 租税の概要 (NISA、つみたてNISA、iDeCoの対象か否かもご確認ください)

■分配時

所得税及び地方税 配当所得として課税 普通分配金に対して20.315%

■換金(解約)時及び償還時

所得税及び地方税 譲渡所得として課税 換金(解約)時及び償還時の差益(譲渡益)に対して20.315%


※ 個人投資者の源泉徴収時の税率です。課税方法等により異なる場合があります。

※ 上記は、2022年3月末現在のものです。

※ 詳細は契約締結前交付書面【交付目論見書】の「手続・手数料等」に記載しています。

この商品はNISAの対象商品ですが、つみたてNISAの対象商品ではありません。また、iDeCoでのお取り扱いはありません。

7 その他参考情報 (契約にあたっては、次の書面をよくご覧ください)

当社(直販)が作成した「契約締結前交付書面」	当社(組成会社)が作成した「目論見書」
(URL) https://direct.smd-am.co.jp/library/fund/pdf/180509h.pdf ※PDF形式で掲載しています。	(URL) https://www.smd-am.co.jp/fund/pdf/180509k.pdf ※PDF形式で掲載しています。
	

契約締結にあたっての注意事項等をまとめた「契約締結前交付書面」、金融商品の内容等を記した「目論見書」については、ご希望があれば、冊子でお渡しします。

(2022.4.15)



一定の投資性金融商品の販売・販売仲介に係る

重要情報シート(個別商品編) よくあるご質問回答例

以下は、重要情報シート(個別商品編)の「よくあるご質問例」に対する回答例です。実際の回答はお客さまごと、商品ごとに大きく異なることがあります。

1 商品等の内容 (当社は、組成会社であるとともにお客さまに商品の販売を行っています)

<p>あなたの会社が提供する商品のうち、この商品が、私の知識、経験、財産状況、ライフプラン、投資目的に照らして、ふさわしいという根拠はなにか。</p>	<p>当ファンドは中長期の資産形成を目的としたお客さまに向けた商品です。中長期的に成長が見込める日本の企業に投資し、信託財産の成長を目指して運用しておりますので、株式投資のリスクをご認識いただき許容いただけるお客さまにはふさわしい商品と考えております。</p>
<p>この商品を購入した場合、どのようなフォローアップを受けることができるのか。</p>	<p>月次レポートや運用報告動画等でその時々々の運用状況をご説明したり、セミナーを開催してお客さまとのコミュニケーションを図ったりするなどのフォローアップをいたします。当ファンドでは、これらを運用担当者が前面に立って行っており、どんな運用担当者がどのような考え方で運用しているのかをお客さまにわかりやすくお伝えする「顔の見える運用」が特徴です。このような情報発信を通じて、お客さまの長期資産形成をサポートいたします。</p>
<p>この商品が複数の商品を組み合わせたものである場合、個々の商品購入と比べて、どのようなメリット・デメリットがあるのか。</p>	<p>この商品は、複数の商品を組み合わせたものではありません。</p>

2 リスクと運用実績 (本商品は、元本が保証されず、損失が生じるリスクがあります)

<p>上記のリスクについて、私が理解できるように説明してほしい。</p>	<p>当ファンドの主要なリスクは以下のとおりです。</p> <p>【株式市場リスク】…株式の価格の下落は、基準価額の下落要因です</p> <p>内外の政治、経済、社会情勢等の影響により株式相場が下落した場合、ファンドの基準価額が下落する要因となります。また、個々の株式の価格はその発行企業の事業活動や財務状況、これらに対する外部的評価の変化等によって変動し、ファンドの基準価額が下落する要因となります。特に、企業が倒産や大幅な業績悪化に陥った場合、当該企業の株式の価値が大きく下落し、基準価額が大きく下落する要因となります。</p> <p>【信用リスク】…債務不履行の発生等は、基準価額の下落要因です</p> <p>ファンドが投資している有価証券や金融商品に債務不履行が発生あるいは懸念される場合に、当該有価証券や金融商品の価格が下がったり、投資資金を回収できなくなったりすることがあります。これらはファンドの基準価額が下落する要因となります。</p> <p>【市場流動性リスク】…市場規模の縮小・取引量の低下により、不利な条件での取引を余儀なくされることは、基準価額の下落要因です</p> <p>ファンドの資金流入に伴い、有価証券等を大量に売買しなければならない場合、あるいは市場を取り巻く外部環境に急激な変化があり、市場規模の縮小や市場の混乱が生じた場合等には、必要な取引ができなかったり、通常よりも不利な価格での取引を余儀なくされることがあります。これらはファンドの基準価額が下落する要因となります。</p>
<p>相対的にリスクが低い類似商品はあるのか。あればその商品について説明してほしい。</p>	<p>当社(直販)で取り扱う商品には、相対的にリスクが低いと考えられる類似商品はありません。</p>



3 費用 (本商品の購入または保有には、費用が発生します)

<p>私がこの商品に〇〇万円投資したら、それぞれのコストが実際にいくらかかるのか説明してほしい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■購入時手数料はかかりません。 ■信託報酬 信託報酬は、日々計上され基準価額に反映されていますので正確な金額はお示しできませんが、仮にお客さまが100万円を投資してその購入時の基準価額が1年間変わらなかったとすると、年間で10,780円となります。その他に売買委託手数料や監査費用等の諸費用がかかりますが、これらは運用状況により変動する費用であり、事前にお示しすることができません。なお、これら諸費用も基準価額に反映されています。 ■解約時 この商品は、解約時に換金申込受付日の基準価額に0.15%を乗じた額が信託財産留保額としてかかります。仮にお客さま保有分の100万円を換金した場合、その額は1,500円となります。なおこの信託財産留保額は、自動的に信託財産に留保されます。
<p>費用がより安い類似商品はあるか。あればその商品について説明してほしい。</p>	<p>当社(直販)で取り扱う商品には、費用がより安いと考えられる類似商品はありませ</p>

4 換金・解約の条件 (本商品を換金・解約する場合、一定の不利益を被ることがあります)

<p>私がこの商品を換金・解約するとき、具体的にどのような制限や不利益があるのかについて説明してほしい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■この商品に解約手数料はかかりませんが、換金・解約した際に発生する有価証券売買コスト等、残存受益者への影響を低減する目的で、信託財産留保額がかかります。信託財産留保額は、換金受付日受付日の基準価額に0.15%を乗じた額が解約代金から自動的に差し引かれ信託財産に留保されます。 ■信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口の換金申込みに制限を設ける場合があります。 ■取引所等における取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、換金申込みの受付停止やすでに受け付けた換金申込みが取消しとなる場合があります。
--	---

5 当社の利益とお客さまの利益が反する可能性

<p>あなたの会社が得る手数料が高い商品など、私の利益よりあなたの会社やあなたの利益を優先した商品を私に薦めていないか。私の利益よりあなたの会社やあなたの利益を優先する可能性がある場合、あなたの会社では、どのような対策をとっているのか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■当社(直販)では、取り扱い全商品(8ファンド)とも購入時手数料はかかりません。また、当社の業績評価上、特定の投資信託の販売を高く評価するような制度もありません。 ■当社では、当社が定める「利益相反管理方針」に基づき、お客さまの利益を不当に害することを防止してまいります。
--	---

(2022.4.15)